

稲垣論文(No.2005-03)へのコメント

鈴木透（国立社会保障人口問題研究所）

総括的なコメント

○マイクロ・シミュレーションは世帯研究にとって強力な分析ツールだが、今回就業状態、所得、健康状態等が加わったことで一層強力になり、適用できる分野も広がった。この小論で新モデルの利点を余すことなく伝えるのは不可能だが、各指標の信頼区間や不平等化の要因分解など、今後期待できるアウトプットは豊富に存在するだろう。課題があるとしたらむしろインプットの面で、国民生活基礎調査以外のデータを収集すべきだろうと考える。